

55 Modular and Communicating Objects in SICStus Prolog

N.A.Elshiewy(ELLEMTEL Telecommunications Systems Lab.,スウェーデン)

発表要旨

プログラミングのオブジェクト指向パラダイムをシクスタス・プロログSICStus Prologの中に統合するための実験についての考察を行う。この統合はカプセル化の能力と大規模の論理プログラムの組織化をサポートし、製品ソフトウェア開発に対して階層的構造とカプセル化された継承機構を使用して、コード継承とふるまい継承の間の区別をつけている。変数結合を待っている呼び出し評価を遅らせるためにシクスタス・プロログの設備を利用しながら、システムは私的なメモリと外部メッセージに対する応答において変わりやすい内部状態と、非同時に通信するオブジェクトの点から記述することができる。入ってくるメッセージのバッファリングと仲裁はストリーム通信によって実現され、定数遅延と合わさる。

質疑応答

質問：実際にあなたはそのシステムを作ったのでしょうか。

回答：はい。

質問：また実際にグラフィカルなユーザー・インターフェースを作るためにそれを使っていますか。

回答：いいえ。

質問：ほかのアプリケーションはいかがですか。

回答：大きなアプリケーションはまだ作っていません。というのは今までシクスタス・プロログの中でマージ・オペレーターを作っていたからです。スタック代入を使ってです。しかしまだある種のオーバーヘッドがあります。ですがいくつかの種類の高レベルでのマージ・オペレーターを作ることを学びました。